



▲学校を中心に地域は一つ（東部コミセン運動会）

## 学校と地域の連携を

答弁＝地域の協力で推進



岡田 千賀子

心痛ましい子どもの事件やいじめによる自殺などが後を絶たず、毎日のように事件が報道される中、加害者・被害者の両方に子どもたちがいます。

「子どもたちは地域の宝であり、地域の将来を担う希望」である事を再認識し、私たちは、子どもを取り巻く環境に目をそらさず、大人の責務として子どもたちの安全と健やかな成長を見守らなくてはなりません。①今まで以上に、学校と地域が一体となって行える子どもたちの安全対策は、②開かれた学校づくりの情報公開の方法は。

答弁＝松田教育長・林統括

①地域における多くの方々との協力で不審者数が減少しています。



渡辺 文子

平成6年法務省令により、戸籍の簡明化及び事務効率の向上のためコンピュータ導入が始まったが、戸籍の電子化による問題点は、電子化になる前に死亡した家族の名前が戸籍に記載されないことです。

それによって、幼い子どもを亡くした親は戸籍から消えたわが子の記録を見て、二度も喪失感を味わっています。

遺族の遺品である携帯電話の継続手続きの際や、相続手続きの時などにも、戸籍謄本が必要ですが、当然電子化以前に亡くなった方は記載されていません。①国会の「内閣特別委員会」でもこの問題が取り上げられ、「法律上は名前を残しても良いのでは」との質問に対して、法務省は「市町

村の判断だ。違法ではない」との見解を示したことを、どのように受け止めているのか。

②平成改製原戸籍と電子化の戸籍と二種類になり、二度手間になっていないか。

③全国連合戸籍事務協議会において、この問題は協議されたのか。

④戸籍電子化の広報はどのようにしたのか。

⑤地方自治法第10条第2項に「住民は法律の定めるところにより、その属する普通地方公共団体の役務の提供を等しく受ける権利を有し、その負担を分任する義務を担う」とあるが、反していないか。

答弁＝枘田理事

①国の見解は法的に、で

た生活を送る能力を養うことを目標としています。6月定例会にて、教育委員会でも前向きに検討調査をする」と表明されましたが、現在の状況は。

答弁＝松田教育長  
鋭意調査研究中

中学校給食の実施を前提に審議を進めることで委員の意見が一致している。本年度中には、教育委員会としての考えを導き出したい。

小学校給食の安全確保

「食の安全」を揺るがす事件が相次ぐ中、給食材料の安全性は。

答弁＝松田教育長  
地域の安全食材を確保

食材の選定に当たっては、文部科学省が策定した「学校給食衛生管理の基準」に基づき選定しています。これからも、地域の安全な食材を取り入れるよう前向きに取り組めます。

2006年(平成18年)7月24日 月曜日



▲平成18年7月24日神戸新聞記事より

## 戸籍電子化による問題点は

答弁＝戸籍事務は「法定受託事務」

きる規定ですが、全国統一ということを経営していくのが相当ではないかと考えている。

②電子化前の戸籍（改製原戸籍）が必要となるケースは相続などであり、数は限られていることから、特に問題は無く、事務処理上は内容確認など容易にできるようになり、迅速に対応できている。

③電子化がスタートした平成6年度以降について確認したが、協議されていない。

④この制度は全国的に行っていることから個人的に通知はしていないが「広報はりま」に掲載した。

⑤戸籍謄本と改製原戸籍の両方の交付を受ける場合の手数料負担については、地方自治法第228条第1項において定められている。